



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第287号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユ-稲川207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／横地 常広 編集責任者／松岡 敏彦 発行日／平成26年2月1日 印刷所／小林クリエイト(株)



水仙(Narcissus) 別名:雪中花

2月号の内容

- ◆ 終了報告 1～3
- ◆ 会員投稿 (2名) 4～5
- ◆ 2月・3月・4月の行事予定 6
- ◆ 研修会・講習会案内他 7～10
- ◆ 会員の異動 11

終了報告

平成 25 年度 第 30 回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会を終えて

静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会 統括担当

常務理事 藺田 明広 (静岡県立総合病院)

昨年末開催された静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会におきましては、技師会員295名および多数の賛助会員の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。静岡県の精度管理調査も今回で30回を迎え、臨床化学・免疫部門においては精密度の評価から目標値を決めた絶対評価の方法へと様変わりをしてきました。また、数年前より他県ではほとんど行われていない病理検査部門への取り組みも開始し、さらに今年は精度管理委員、そして参加施設の皆様のご協力をいただき、募集から集計作業、そして報告までの一連の作業を Web 形式にて実施することができました。

データについては臨床化学・免疫部門および血液の血算部門において、ここ数年来、良好な収束をみており、輸血部門においても非常に良い結果を得ることができました。今後は各施設のデータが良好であることに加え、施設内の技師間の技術、知識レベルの標準化に務めていただければと思います。また、非常に難しい分野ではありますが、微生物部門や病理部門での標準化も望まれるところであり、精度管理調査を通して委員の皆さんと共に他県に先駆けた普及に努めていければ幸いです。

今後とも、静岡県臨床検査精度管理調査へのご参加、ご協力のほどよろしくお願い致します。

第 30 回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会 「あざれあ」 平成 25 年 12 月 8 日 (日)



9 : 0 0 ~ 受付開始



6 F 大ホール 1 1 : 0 0 ~ 全体会議



田内 先生(委員長)



前川 先生(臨床化学・免疫)

各部門委員の皆さん



米川 先生(臨床化学・免疫)



飛田 先生(血液)



橋本 先生(微生物)




藤澤 先生(輸血)



森 先生(病理)

研修会終了報告

研修会名	平成 25 年度 第 2 回微生物検査研究班研修会
開催日	平成 25 年 12 月 14 日 (土)
会場	中東遠総合医療センター 2 階 多目的会議室
参加人数	48 人
内容	<p>今回は、「同定検査」をテーマに開催した。 TSI(triple sugar iron) 培地 学生実習で使用した TSI 培地などの性状確認培地を用いた同定検査についての基礎的な お話。試験管培地の選択と基礎的な接種方法の確認、判定のポイントを例を挙げながら解説 していただいた。</p> <p>そして、今話題の質量分析装置については、導入施設のワークフローの紹介。また、使用 経験。導入後の利点や問題点まで紹介していただき今後導入を検討している施設には参考にな ったと思われる内容であった。そして、実際に質量分析器を用いた同定の実習を行った。 参加者にも体験していただき同定検査の速さを体験していただいた。</p>
	

研修会名	第 14 回 静岡血液フォーラム
開催日	平成 25 年 12 月 15 日 (日)
会場	静岡市立静岡病院 12F 講堂
参加人数	126 人
内容	<p>今年で血液フォーラムも 14 回目となり今回も 120 名を超える多くの参加者が集まる中に 開催できたことにこの場を借りてお礼申し上げます。</p> <p>さて今年の内容は血液像、凝固検査の基礎、MDS に関する最近のトピックス、フローサイ トに関する基本的な項目など幅広い分野を各講師にわかりやすく教えて頂き、一日で血液 学の何たるかを網羅できる内容となっており、初心者からベテランまで誰もが満足のいく研 修会ではなかったのかと思われます。</p>
	

病棟採血実施中

藤枝市立総合病院 臨床検査科
曾根 あい子

臨床検査科では、臨床検査技師が『チーム医療』の一端を担い看護師の負担を軽減させることを目標とした、看護師と技師が協力して行う病棟採血業務に平成 23 年 10 月から取り組み実施しています。

➤ 実施に向けて——。

『増員はしない』『時間外勤務としない』の条件を提示され、どのように実施していけばよいのかということでワーキンググループを立ち上げました。採血時間帯、採血対象患者等の検討や必要機材の準備、マニュアルの作成を行いました。また、すでに病棟採血業務を実施している 2 施設への視察を行い参考にさせていただきました。

試行期間を設け、まず 1 病棟から始め実施に向けて段階的に進めていきました。定期的に看護部と協議を重ね、問題点を改善し、当院・当科に適した病棟採血を試行錯誤しました。そして、平成 24 年 4 月から 4 病棟を対象に各病棟技師 1 名が担当し、7 時 15 分から 8 時 20 分を採血時間として実施しています。

➤ 病棟採血を行って——。

早朝採血業務に出勤した時間は、早退として振り替えています。そのため、検査科の負担は大きく、各部署で業務改善に努めていますが課題はまだあります。しかし、病棟採血によって看護師とコミュニケーションを図ることができてきたことは、今後更にお互いの状況を理解した協力体制を築いていくことができるものと思います。

看護部からは、『看護業務に専念できるようになった』と好評で、採血病棟拡大の要望があります。(これは現人員では無理であることを理解していただいています)



今朝も、看護部からのお礼メッセージに背中を押され、病棟採血に奮闘しています。

わたしと胚培養士（エンブリオロジスト）

聖隷三方原病院 臨床検査部
青葉 幸子

私は現在、聖隷三方原病院で「臨床検査技師」と「胚培養士（エンブリオロジスト）」を兼務しています。「2足のわらじ」を履き始めて十何年・・・胚培養士になったきっかけは、臨床検査技師になったばかりの私の就職先が、不妊治療を行っていた開業医であったことでした。しかし、不妊治療や培養業務を全く理解していない状況で決めた就職であったため、毎日の業務をこなすだけで精一杯で、患者さんの卵子や精子の取り扱いを許されるまでは、ある大学病院の産婦人科教室に通い続け、医学部の学生さんと一緒にマウスで実習（練習）をしました（この頃、マウスを食べる夢を毎日のように見てうなされました・・・）。

私が胚培養士になる決意をしたのは、長年の不妊治療の末にめでたく妊娠した、ある患者さんの「この子のお母さんは、私と青葉さんだね（笑）」の一言でした。自分の選んだ仕事がかんなに感動を与えるものなのかと胸が一杯になり、それ以降、患者さんからの「妊娠・出産しました！」の吉報のために、また第2の母として自分の子供（？）をこの世に増やすべく、日々業務に取り組んでいます。自分が関わった患者さんの妊娠・出産は、今でも変わらず私にとって何よりの励みであり誇りです。

今では「胚培養士」もかなり知れ渡り、私と同様に胚培養士と兼務する臨床検査技師が増えてきましたが、私が胚培養士になった頃は不妊治療が徐々に日本中に普及し始めた頃で、まだまだマイナー分野でした。

現在では女性の晩婚化や社会状況により高年齢での挙児を望む夫婦が増加しており、今後、胚培養士の役割は更に増すと推測されます。この分野で活躍する臨床検査技師がいることを、この投稿をきっかけに知っていただければ幸いです。



*** 仕事モード「OFF」のときは、
神社・仏閣巡りへ**



そんな私が胚培養士になった頃から続けている密かな楽しみは「神社・仏閣巡り」で、行った先々の神社やお寺で御朱印をいただき、様々な仏像を眺めて気持ちの切り替えをしています。「歴女ブーム」以前から、私は自称「仏像ガール」「御朱印ガール」なのです。

胚培養士といい、御朱印といい、私は時代を先行しているな・・・と思いつつ、臨床検査技師としても胚培養士としても常にアンテナを高くし、時代を先行する存在になれるよう、驕ることなく一層努力をしたいと思います。

平成26年2月・3月・4月の行事予定

2月

- 1日(土) 平成25年度 第3回 日臨技 中部圏支部幹事会 : 静臨技事務所
8日(土) ~ 9日(日)
平成25年度 日臨技 中部圏支部 病理細胞検査研修会
: 浜松医科大学 講義実習棟
15日(土) 平成25年度 第3回 一般検査研究班研修会 : 静岡がんセンター
22日(土) 細胞診従事者講習会 : 静岡赤十字病院
23日(日) 平成25年度 静臨技 スタートアップ研修会 : 静岡県産業経済会館
24日(月) 平成25年度 第3回 微生物検査研究班研修会
災害感染症対策セミナー in SHIZUOKA : 静岡県立総合病院

3月

- 1日(土) 平成25年度 第2回 標準化事業講習会 : 静岡県立総合病院
1日(土) ~ 2日(日)
平成25年度 日臨技 中部圏支部 生理検査研修会 : ホテル グランヴィエール岐山(岐阜県)
7日(金) 静岡県標準化事業 第10回 東部地区意見交換会 : 三島市商工会議所
8日(土) ~ 9日(日)
平成25年度 日臨技 中部圏支部 血液検査研修会 : 熱海ニューフジヤホテル
9日(日) 平成25年度 健康食品管理士会 中部支部研修会・一般市民公開講座
: 富士市フィランセ
15日(土) 平成25年度 第4回 微生物検査研究班研修会 : 静岡県立総合病院
20日(木) 役員候補者選考委員会 : 静臨技事務所

4月

- 5日(土) 平成26年度 学術部門長会議 : あざれあ

静臨技会員数 2014/1/20 現在
1,497名 日臨技総合情報システムより

求人情報 ☆

(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒410-2211 伊豆の国市伊豆長岡 1129
順天堂大学医学部附属静岡病院 検査室 勝又 俊郎 まで。
E-mail : jtd_kensa_tk@yahoo.co.jp TEL : 055-948-3111 (内線 1021)

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部(編集責任者) 松岡敏彦まで t.matsuoka@hmedc.or.jp

静臨技ニュース1月号(抜粋カラー版)をホームページに掲載しました。

No.274 平成25年1月号から掲載してありますので是非ご覧ください。

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 26 年 1 月 20 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。

平成 26 年 (2) (敬称略)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
<p>2月8日(土) 9:00~17:30</p> <p>2月9日(日) 9:00~14:30</p> <p>国立大学法人 浜松医科大学 講義実習棟</p> <p>受講料 会員 8,000 円 非会員 12,000 円</p> <p>申込締切り 12月15日(日)</p> <p>定員 100名</p>	<p>平成 25 年度 中部圏支部 病理細胞検査研修会</p> <p>≪1日目≫ 『呼吸器の臨床と病理組織細胞診』 講演 1 『呼吸器疾患における検査と治療』 静岡がんセンター 小野 哲 先生 講演 2 『肺腺癌における新しい WHO 分類とその組織像』 静岡がんセンター 中島 孝 先生 講演 3 『体腔液細胞診のすすめ方とピットフォール』 公立昭和病院 濱川 真治 先生 講演 4 『Liquid Biopsy の最前線』 静岡がんセンター 渡辺 勝 先生</p> <p>≪2日目≫ 『Ki-67 抗体を用いた免疫染色サーベイ』 『各県の状況』 中部 6 県班長 『総合集計結果と考察』 西尾市民病院 中村 広基 先生 『MIB-1 インデックスの意義と実例』 浜松医療センター 森 弘樹 先生 『手法と解析アプリケーション』 正晃株式会社 桜井 雅史 先生</p> <p>鏡検実習 回収した全ての染色標本の鏡検実習。 合わせて Index も提示</p>	<p>事務局</p> <p>検体—専門—20 点 静岡県立静岡がん センター 本田 勝丈 (055-989-5222) 内線 2361</p> <p>研修会の詳細、申し 込み方法に関しては、 静臨技または日臨技の ホームページをご覧ください。</p>
<p>2月15日(土) 14:00~17:00</p> <p>静岡県立静岡がん センター 3階 検体検査室</p> <p>会員 3,000 円 賛助会員 3,000 円 非会員 5,000 円</p> <p>募集人員 12名</p> <p><u>会員を優先させていただきます。</u></p>	<p>平成 25 年度 第 3 回 一般検査研究班研修会 『初心者向け！ 一般検査実技講習会』</p> <p>プログラム 14:00~14:10 オリエンテーション 14:10~16:40 3班に分かれて実習 45分ずつ ①定性試験(手技、偽陽性確認法) ②沈渣(標本作製法、鏡検法、基本成分について) ③髄液・穿刺液(検査法、鏡検法、基本成分について) 16:40~17:00 グループディスカッション</p> <p>一般検査に配属予定者、始めて1年未満、担当を外れて数年経っている、当直検査でしかやらない・・・という方を対象に、認定一般検査技師が講師となり実技指導を行います。 基本的手技を中心とした研修内容です。日頃、聞きたくても指導者が居ない。裏技を聞きたい。自分の手技を見直したい。と思っっている方は、この機会に是非ご参加下さい。</p>	<p>No. (130030670) 検体—専門—20 点 静岡県立静岡がん センター内 エスアールエル 検査室 新村 尚美 (055-980-5680)</p> <p>研修会の申し込み方法 に関しては、研修会の 案内または静臨技のホ ームページをご覧ください。</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
<p>2月23日(日) 8:30~20:00</p> <p>静岡県産業経済会館 第一会議室</p> <p>会員 5,000円</p>	<p style="text-align: center;">平成25年度 スタートアップ研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プレゼンテーション (提案) のスキルを 身につけよう! ● 日常業務の疑問点・問題点を共有し 解決策を考えてみよう! ● コミュニケーションを図ろう! <p>静臨技では新人(入職5年目位まで)を対象とした研修会を企画しました。 様々な施設の新人との交流を通して、新たな気付きや学びを得ることを期待します。 多数の参加をお待ちしております。</p>	<p>No. (130032357) 教育—基礎—20点 沼津市立病院 臨床検査科 原田 勉 (055-924-5100)</p>
<p>2月24日(月) 19:00~21:00</p> <p>静岡県立総合病院 循環器センター6階 つつじホール</p> <p>参加費 無料</p> <p>定員 <u>先着150名</u></p>	<p style="text-align: center;">平成25年度 第3回 微生物検査研究班研修会 災害感染症対策セミナー in SHIZUOKA</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『災害感染症に必要とされる消化器系の検査』 株式会社 日本微生物研究所 常務取締役 検査部長 佐藤 寿夫 先生 2. 『災害感染症、特に地震・津波などの 震災後の感染症対策について』 静岡県立大学 感染症管理対策委員長 静岡県立大学短期大学部 教授 古賀 震 先生 3. 『災害と感染症に対する人間の 安全保障プログラム』 東北大学災害科学国際研究所 災害感染症学分野 教授 服部 俊夫 先生 <p>東日本大震災以後、震災発生時におけるリスク管理について様々な分野から提言がされています。 地震災害リスクの高い静岡県において災害感染症対策強化に向けてセミナーを開催します。</p>	<p>No. (130032481) 教育—基礎—20点 静岡県立総合病院 大石 和伸 (054-247-6111) (内線 2250)</p>
<p>3月1日(土) 13:30~17:00</p> <p>静岡県立総合病院 循環器センター6階 つつじホール</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p style="text-align: center;">平成25年度 第2回 静岡県標準化委員会講習会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脂質トライアルサーベイの結果報告 静岡県臨床検査標準化委員会 静岡県精度管理調査委員会 2. 日常検査で発生した事例からの知見 《事例1》共存物質の影響(アンモニア)で BUNの測定が阻害された事例 静岡済生会総合病院 松村 遥 技師 《事例2》妨害イオンの影響だと思われる クロール異常高値を示した事例 焼津市立総合病院 森 綾香 技師 《事例3》アルブミン測定法についての知見 —BCP改良法におけるペニシリンG大量投与の影響— 富士宮市立病院 小野田 勝美 技師 3. 医師等による特別講演を予定 (現在調整中) 	<p>No. (130031749) 検体—専門—20点 静岡県立総合病院 菌田 明広 (054-247-6111) (PHS 8502)</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (3)

日時・会場・参加費	研修内容・講師（敬称略）	点数・担当・連絡先
<p>3月7日（金） 18：30～20：30</p> <p>三島市商工会議所 4階 会議室 B</p> <p>参加費 500 円</p>	<p>静岡県標準化事業 第10回東部地区意見交換会</p> <p>①（仮題）精度管理調査における ALT 低値の 原因を考える 富士市立中央病院 鈴木 英昭 技師</p> <p>②（タイトル 未定）事例紹介 聖隷沼津病院 田中 佐織 技師</p> <p>③ 各社市販管理血清の表示値・管理幅の信頼度 について考える ～ 各メーカーへの調査結果からの考察 ～ 静岡県立こども病院 森里 幸 技師</p> <p>精度管理調査で、ALT が低値に測定され C 評価となった施設が多かったことから、考えられる原因を富士中央病院の鈴木さんから報告していただきます。 聖隷沼津病院の田中さんには、事例紹介をしてもらう予定でいます。 また、市販管理血清の表示値ならびに表記されている管理幅を各社どのように値付けしているのか、その信頼性は？という事で、県立こども病院の森里さんに各メーカーに調査をかけていただき、お話しいただきます。 管理血清の使用に当たって、知っておくべき点だと思います。多数の方のご参加をお待ちしております。</p>	<p>No. (130034258) 検体—専門—20 点 富士宮市立病院 臨床検査科 赤池 陽子 (0544-27-3151)</p>
<p>3月8日（土） 12：30～17：40</p> <p>3月9日（日） 9：10～12：30</p> <p>熱海ニューフジヤ ホテル</p> <p>受講料 2日間 10,000 円 1日のみ 6,000 円</p> <p>宿泊費 10,000 円</p> <p>募集人員 150 名</p>	<p>平成 25 年度 中部圏支部 血液検査研修会 『ワンランク上の血液検査技師を目指して』</p> <p>【1日目】3月8日（土）12：30～ 受付 13：00～ 開講式、オリエンテーション 講演① 『末梢血液像をマスターしよう！』 ～血液像の所見のとり方～ 福岡大学 阿南 建一 先生 講演② 『普通染色・特殊染色を綺麗に染めよう』 ～正しい診断は染色から～ 藤枝市立総合病院 小林 千春 技師 講演③ 『骨髓像の症例と診断』 長崎市役所福祉保健部 栗山 一孝 先生</p> <p>【2日目】3月9日（日） 9：10～ 講演④ 『血液検査担当技師におさえてほしい凝固の知識』 東京大学医学部附属病院 金子 誠 先生 講演⑤ 『リンパ腫の形態的特徴と 診断における分類と分子病態』 岡山大学 吉野 正 先生 12：00～ 閉講式、修了証書授与</p>	<p>研修会問い合わせ 三島社会保険病院 大橋 勝春 (055-975-5545)</p> <p>研究班アドレス ketueki_shizuoka @yahoo.co.jp</p> <p>申し込み問い合わせ 事務局 栗田 哲至 聖隷浜松病院 検査部 (053-474-2632) FAX 053-474-3388</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (4)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
<p>3月9日 (日) 13:00～16:00</p> <p>富士市フィランセ 大ホール</p> <p>参加費 無料</p>	<p>平成25年度 健康食品管理士会中部支部研修会・ 一般市民公開講座</p> <p>【教育講演 - 1】 13:00～13:50 「フルクトース摂取と生活習慣病」 藤田保健衛生大学医療科学部 臨床検査学科 准教授 大橋 鈺二 先生</p> <p>【教育講演 - 2】 13:50～14:40 「肺の生活習慣病 COPD (慢性閉塞性肺疾患) って何？」 ～食事との関係、予防、呼吸リハビリテーションについて～ 岐阜医療科学大学保健科学部 臨床検査学科 教授 高崎 昭彦 先生</p> <p>司会 渡辺 数由 技師 (富士いきいき病院 臨床検査科)</p> <p>休憩 10分</p> <p>【特別講演】 14:50～15:50 「健康食品の安全確保において必要な知識」 独立行政法人国立健康・栄養研究所 梅垣 敬三 先生</p> <p>司会 須崎 尚 先生 (名古屋学芸大学管理栄養学部 教授)</p>	<p>No. (130034629) 検体—専門—20点 富士いきいき病院 臨床検査科 渡辺 数由 (0545-71-6168) 午後7時以降</p> <p>「健康食品管理士」 更新資格の5点が 取得できます。</p>
<p>3月15日 (土) 12:30～17:40</p> <p>静岡県立総合病院 循環器センター6階 つつじホール</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p>平成25年度 第4回 微生物検査研究班研修会 『新しい検査項目を学ぼう』</p> <p>「薬剤感受性アンケート結果 —グラム陰性桿菌—」 焼津市立総合病院 石原 美弥子 技師</p> <p>「ヒトメタニューモウイルス抗原検査について」 Meiji Seika ファルマ 小西 卓 先生</p> <p>「プレセプシン検査について」 三菱化学メディエンス 金子 守 先生</p> <p>昨年、会員の皆様に御協力頂いた薬剤感受性検査のアンケート結果のグラム陰性桿菌に関する報告。 新しく保険収載された検査項目「ヒトメタニューモウイルス抗原検出試薬」、新しい敗血症のマーカー「プレセプシン」の紹介をしていただき、新しい検査項目の知識を得る。</p>	<p>No. (130034269) 検体—専門—20点 静岡県立総合病院 大石 和伸 (054-247-6111) (内線 2250)</p>

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい